

第 34 号
改訂番号 1
株式会社 S U B A R U
富士ベル式 205B 型
令和 2 年 1 月 6 日

型式証明データシート第 34 号

我が国の航空法及び同法施行規則の耐空性要件を満足するものとして、ここに型式証明第 34 号の航空機に関するデータシートを発行する。

型式証明の所有者 名称 株式会社 S U B A R U
住所 東京都渋谷区恵比寿一丁目 20 番 8 号

来歴（所有者） 同上

富士ベル式 205B 型（回転翼航空機 輸送 TB 級 1995 年（平成 7 年）12 月 7 日承認）

（1）発動機

製造者名： Alliedsignal（Lycoming）
我が国の型式承認番号： なし
製造国の型式承認番号： FAA TC No. E17EA
型式名： T5317B 型

（2）燃料

ASTM D-1655 TYPE B, A, A-1 又は MIL-T-5624 GRADE JP-4, JP-5

（3）発動機限界

	排気温度 （℃）	回転速度	
		N ₁ （カス・プロペラー）	N ₂ （ハータービン）
離陸出力（5 分間）	863	105%（26,400RPM）	100%（6,600RPM）
連続最大出力	820	101%（25,400RPM）	100%（6,600RPM）

（4）回転翼速度限界

動力装置 作動時	最大	100%	（324RPM）
	最小	97%	（314RPM）
動力装置 非作動時	最大	104.5%	（339RPM）
	最小	91%	（294RPM）

ページ	1	2	3	4	5
改訂番号	1	—	—	—	—

(5) トランスミッション・トルク限界

	トルク圧力 (PSI)
離陸出力 (5 分間)	55.7 (1,290SHP)
連続最大出力	49.0 (1,134SHP)

(6) 対気速度限界

超過禁止速度 (IAS)

SL～3,000 ft において

- 241km/h (130kt) : 重量 3,402kg (7,500 lbs) 及びそれ以下
 226km/h (122kt) : 重量 3,402kg (7,500 lbs) から 3,856kg (8,500 lbs)
 196km/h (106kt) : 重量 3,856kg (8,500 lbs) から 4,763kg (10,500 lbs)
 3,000 ft 以上では 1,000ft につき 5.6km/h (3 kt) 減ずる。

客室ドアを開に固定した場合、又は取り外した場合

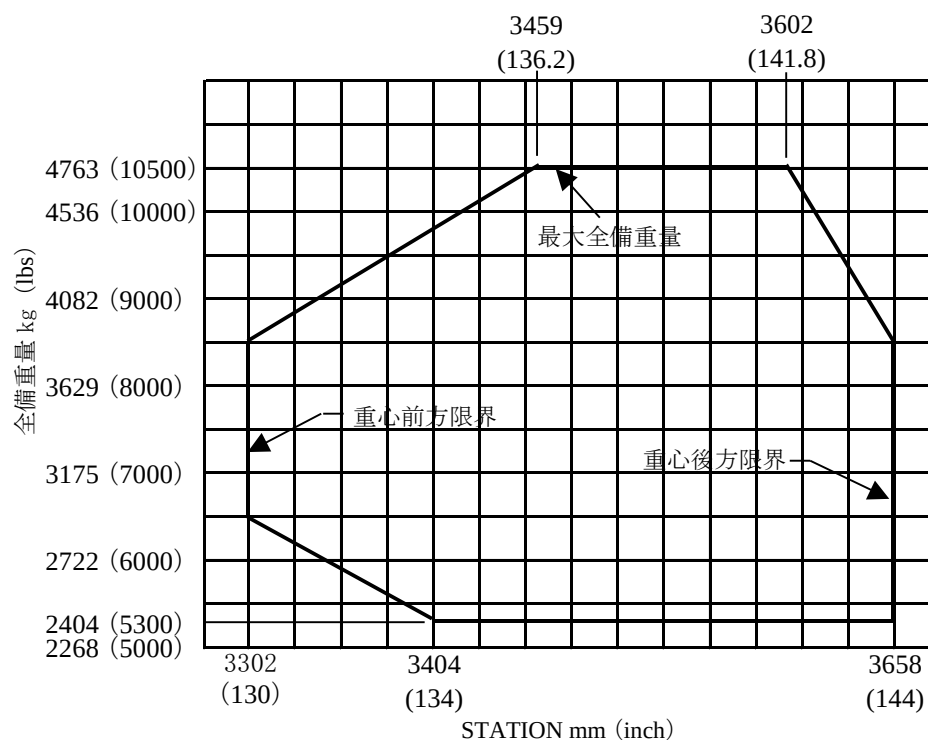
- ・ ドア左右対称状態 185km/h (100kt)
 (SL～3,000ft、3,000ft を越えたときは、1,000ft につき 5.6km/h (3 kt) 減ずる。
- ・ ドア左右非対称状態 111km/h (60kt)

最大連続トルク (49.0 psi) 以上での運用 148 km/h (80 kt)

(7) 重心位置範囲

前後方向重心位置限界

重 心 位 置 (前方限界) (後方限界)		重量
+3459 mm (+136.2 in)	～ +3602 mm (+141.8 in)	4,763 kg (10,500 lbs)
+3302 mm (+130.0 in)	～ +3658 mm (+144.0 in)	3,856 kg (8,500 lbs)
+3302 mm (+130.0 in)	～ +3658 mm (+144.0 in)	2,948 kg (6,500 lbs)
+3404 mm (+134.0 in)	～ +3658 mm (+144.0 in)	2,404 kg (5,300 lbs)



重心対全備重量チャート

横方向許容重心位置限界

胴体中心から左方向 119 mm (4.7 in)

胴体中心から右方向 165 mm (6.5 in)

(8) 空虚重量時の重心位置範囲

なし

(9) 機軸基準位置

前後方向の基準点 (STA 0.0) は、機首後方 508mm (20.0 in)位置にある。

(10) 水平基準位置

1/4° 単位のレベリング目盛り板が左側パッセンジャ・カーゴ・ドアのすぐ内部のキャビン床面にある。ドア・フレームに溝付穴があり、そこに重錘を吊す。

レベリング手順

a ドア・フレームにある溝付穴から重錘を吊し、キャビン床面レベリング目盛り板の直上に、重錘の尖端がくるようにする。

b 重錘の尖端が、レベリング板の縦線と横線が交差する 0° の中心になるように、4 個のジャッキを調整し、機体の前方、後方及び横方向のレベルを出す。

(11) 最大重量

最大離陸重量 4,763 kg (10,500 lbs)

最大着陸重量 4,763 kg (10,500 lbs)

(12) 最少乗組員数

操縦士 1 名 (右乗組員座席が正操縦席である)

(13) 座席数

15 名（操縦士 1 名を含む）

(14) 最大荷物搭載重量

荷物室（尾部胴体の前端コンパートメント）

最大積載量： 181 kg (400 lbs)

最大面荷重： 488 kg/m² (100 lbs/ft²)

表 1 に 9 kg (20 lbs) おきの重量、モーメント・アーム及びモーメントの変化を 9 kg (20 lbs)～181 kg (400 lbs) まで示す。

表 1 荷物搭載表

重量		概略重心(STA)		モーメント		重量		概略重心(STA)		モーメント	
(kg)	(Lbs)	(mm)	(in)	kg・mm	in・Lbs	(kg)	(Lbs)	(mm)	(in)	kg・mm	in・Lbs
9	20	6223	245	56455	4900	100	220	6731	265	671700	58300
18	40	6274	247	113832	9880	109	240	6782	267	738294	64080
27	60	6325	249	172130	14940	118	260	6833	269	805810	69940
36	80	6375	251	231351	20080	127	280	6883	271	874247	75880
45	100	6426	253	291492	25300	136	300	6934	273	943606	81900
54	120	6477	255	352556	30600	145	320	6985	275	1013887	88000
64	140	6528	257	414541	35980	154	340	7036	277	1085089	94180
73	160	6579	259	477448	41440	163	360	7087	279	1157213	100440
82	180	6629	261	541277	46980	172	380	7137	281	1230259	106780
91	200	6680	263	606028	52600	181	400	7188	283	1304227	113200

(15) 燃料容量

総 容 量： : 220 U.S. gal

使用可能量 : 217 U.S. gal

モーメント・アームは富士ベル式 205B 型飛行規程参照

使用不能量 : 3 U.S. gal（空虚重量に含まれる）

モーメント・アーム STA 3627mm (STA 142.8 in)

(16) 滑油容量

総 容 量 : 3.25 U.S. gal

使用可能量 : 1.6 U.S. gal

モーメント・アーム STA 4450mm (STA 175.2 in)

使用不能量 : 1.65 U.S. gal（空虚重量に含まれる）

モーメント・アーム STA 4450mm (STA 175.2 in)

(17) 最大運用高度

20,000 ft

(18) 操舵範囲

富士ベル式 205B 型のメンテナンス・マニュアル参照。

(19) 製造者の製造番号

01、02

(20) 型式証明基準

- (a) 平成 7 年 2 月 20 日付 空機第 9 1 6 号、
 平成 7 年 8 月 24 日付 空機第 8 4 8 号、及び
 平成 23 年 7 月 22 日付 国空機第 5 0 1 0 号

(b) 騒音基準
航空法施行規則付属書第二「航空機の騒音の基準」
第 5 章 国際民間航空条約の付属書 16 第 1 巻第 8 章が適用される航空機

(c) 発動機排出物
航空法施行規則付属書第三「航空機の発動機の排出物の基準」
第 1 章 航空機の発動機の排出燃料の基準

注) 上記の基準は国際民間航空条約の付属書 16 第 2 巻第 2 部と同一である。

(d) 型式証明番号 第 34 号 (1995 年 (平成 7 年) 12 月 7 日発行) (初回)

(e) 型式証明の申請日 1994 年 (平成 6 年) 5 月 30 日申請

(21) 製造基準
なし

(22) 装備品
基本の必須装備品は、航空法又は同法施行規則で定められる適切な装備を航空機に搭載するように定められている。

必須装備品
飛行規程の運用様式限界等判定表を参照。

(23) 注記

注 1) 重心範囲は全備重量により変化する。重心対全備重量チャート (7) 項参照。
重量重心の計算方法については飛行規程参照。

注 2) 疲労の観点から重要な部品等の廃棄時間に関しては、富士ベル式 205B 型メンテナンス・マニュアルの「耐空性限界表」の最新の航空局承認版を参照。

注 3) 富士ベル式 205B 型回転翼航空機に、次に示す特殊装備品を装着した場合には、特殊航空機 X となる。

機外荷物懸吊装置 : 204-706-104